(5) 予測結果と事後調査結果との比較検討

ア　予測した事項

①　施設の稼働に伴う煙突排出ガスによる大気質の状況

予測結果が年平均値であるのに対し、事後調査結果は調査を行った各季７日間における結果であるため、単純に比較することはできないが、全体の傾向を把握するために事後調査結果と予測結果を比較した。

a 二酸化いおう

二酸化いおうの予測結果と事後調査結果との比較は、表 7.1-24 に示すとおりである。

二酸化いおうの二季平均値は 0.001～0.002ppm、日平均値の最高は 0.002～0.003ppm であり、予測結果（年平均値：0.002ppm、日平均値の 2%除外値：0.005ppm）以下となった。

また、各調査地点における日平均値の最高は 0.002～0.003ppm、１時間値の最高は 0.005～0.008ppm であり、参考として、全ての調査地点において環境基準（日平均値：0.04ppm、１時間値：0.1ppm）を下回った。

表 7.1-24　予測結果と事後調査結果との比較（二酸化いおう）

単位：ppm

調査地点 ＼ 調査時期			事後調査結果 秋季調査 H29.11.6～12	事後調査結果 春季調査 H30.5.28～6.3	事後調査結果 二季平均	予測結果	環境基準
A	杉並清掃工場	平均値	0.001	0.001	0.001	0.002	1時間値の1日平均値が0.04以下であり、かつ1時間値が0.1以下
		最高値	0.001 (0.005)	0.002 (0.005)	0.002 (0.005)	0.005	
B	神明中学校	平均値	0.001	0.001	0.001	0.002	
		最高値	0.002 (0.006)	0.002 (0.007)	0.002 (0.007)	0.005	
C	富士見ヶ丘中学校	平均値	0.001	0.001	0.001	0.002	
		最高値	0.001 (0.005)	0.002 (0.005)	0.002 (0.005)	0.005	
D	浜田山小学校	平均値	0.001	0.002	0.002	0.002	
		最高値	0.002 (0.006)	0.002 (0.007)	0.002 (0.007)	0.005	
E	高井戸第三小学校	平均値	0.001	0.001	0.001	0.002	
		最高値	0.001 (0.006)	0.002 (0.007)	0.002 (0.007)	0.005	
F	上北沢小学校	平均値	0.002	0.001	0.001	0.002	
		最高値	0.003 (0.008)	0.002 (0.007)	0.003 (0.008)	0.005	

注１）平均値は、１時間値の期間平均値を示す。
注２）最高値は、日平均値の期間最高値を示し、併せて１時間値の最高値を（）内に示す。
注３）二季平均欄の最高値は、日平均値の二季最高値を示す。
注４）予測結果欄の平均値は年平均値、最高値は日平均値の 2%除外値を示す。
注５）環境基準は、環境基本法に基づく「大気の汚染に係る環境基準について」を適用した。

b 浮遊粒子状物質

浮遊粒子状物質の予測結果と事後調査結果との比較は、表 7.1-25 に示すとおりである。

浮遊粒子状物質の二季平均値は 0.016～0.020mg/m^3、日平均値の最高は 0.030～0.041 mg/m^3 であり、予測結果（年平均値：0.026mg/m^3、日平均値の 2%除外値：0.062 mg/m^3）を下回った。

また、各調査地点における日平均値の最高は 0.030～0.041mg/m^3、１時間値の最高は 0.050～0.088mg/m^3 であり、参考として、全ての調査地点において環境基準（日平均値：0.10mg/m^3、１時間値：0.20mg/m^3）を下回った。

表 7.1-25　予測結果と事後調査結果との比較（浮遊粒子状物質）

単位：mg/m^3

調査地点 ＼ 調査時期			事後調査結果 秋季調査 H29.11.6～12	事後調査結果 春季調査 H30.5.28～6.3	事後調査結果 二季平均	予測結果	環境基準
A	杉並清掃工場	平均値	0.017	0.016	0.016	0.026	1時間値の1日平均値が0.10以下であり、かつ1時間値が0.20以下
		最高値	0.030 (0.050)	0.020 (0.045)	0.030 (0.050)	0.062	
B	神明中学校	平均値	0.020	0.017	0.019	0.026	
		最高値	0.039 (0.068)	0.022 (0.044)	0.039 (0.068)	0.062	
C	富士見ヶ丘中学校	平均値	0.019	0.016	0.018	0.026	
		最高値	0.038 (0.064)	0.020 (0.039)	0.038 (0.064)	0.062	
D	浜田山小学校	平均値	0.020	0.017	0.019	0.026	
		最高値	0.040 (0.071)	0.023 (0.049)	0.040 (0.071)	0.062	
E	高井戸第三小学校	平均値	0.018	0.017	0.017	0.026	
		最高値	0.035 (0.063)	0.024 (0.054)	0.035 (0.063)	0.062	
F	上北沢小学校	平均値	0.022	0.018	0.020	0.026	
		最高値	0.041 (0.088)	0.025 (0.070)	0.041 (0.088)	0.062	

注１）平均値は、１時間値の期間平均値を示す。
注２）最高値は、日平均値の期間最高値を示し、併せて１時間値の最高値を（）内に示す。
注３）二季平均欄の最高値は、日平均値の二季最高値を示す。
注４）予測結果欄の平均値は年平均値、最高値は日平均値の 2%除外値を示す。
注５）環境基準は、環境基本法に基づく「大気の汚染に係る環境基準について」を適用した。

c 二酸化窒素

二酸化窒素の予測結果と事後調査結果との比較は、表 7.1-26 に示すとおりである。

二酸化窒素の二季平均値は 0.016～0.018ppm、日平均値の最高は 0.037～0.044ppm であり、予測結果（年平均値：0.026ppm、日平均値の年間 98%値：0.047ppm）を下回った。

予測結果を下回った理由は、表 7.1-20(1)（p.54 参照）に示すとおり、予測時と比較してバックグラウンド濃度が著しく低下したためと考える。

また、各調査地点における日平均値の最高は 0.037～0.044ppm であり、参考として、全ての調査地点において環境基準を満足した。

表 7.1-26　予測結果と事後調査結果との比較（二酸化窒素）

単位：ppm

調査地点 ＼ 調査時期			事後調査結果			予測結果	環境基準
			秋季調査 H29.11.6～12	春季調査 H30.5.28～6.3	二季平均		
A	杉並清掃工場	平均値	0.024	0.012	0.018	0.026	1 時間値の 1 日平均値が 0.04 から 0.06 までのゾーン内又はそれ以下
		最高値	0.041	0.016	0.041	0.047	
B	神明中学校	平均値	0.021	0.010	0.016	0.026	
		最高値	0.039	0.011	0.039	0.047	
C	富士見ヶ丘中学校	平均値	0.021	0.011	0.016	0.026	
		最高値	0.037	0.013	0.037	0.047	
D	浜田山小学校	平均値	0.022	0.010	0.016	0.026	
		最高値	0.038	0.013	0.038	0.047	
E	高井戸第三小学校	平均値	0.022	0.011	0.016	0.026	
		最高値	0.038	0.013	0.038	0.047	
F	上北沢小学校	平均値	0.025	0.011	0.018	0.026	
		最高値	0.044	0.014	0.044	0.047	

注１）平均値は、１時間値の期間平均値を示す。
注２）最高値は、日平均値の期間最高値を示す。
注３）二季平均欄の最高値は、日平均値の二季最高値を示す。
注４）予測結果欄の平均値は年平均値、最高値は日平均値の年間 98%値を示す。
注５）環境基準は、環境基本法に基づく「二酸化窒素に係る環境基準について」を適用した。

d ダイオキシン類

ダイオキシン類の予測結果と事後調査結果との比較は、表 7.1-27 に示すとおりである。

ダイオキシン類の四季平均値は 0.013～0.019pg-TEQ/m^3 であり、全ての調査地点で予測結果（0.049pg-TEQ/m^3）を下回った。

予測結果を下回った理由は、表 7.1-20(2)（p.54 参照）に示すとおり、予測時と比較してバックグラウンド濃度が著しく低下したためと考える。

また、各季、各調査地点におけるダイオキシン類の調査期間平均値の最大は、地点 C の冬季調査の 0.030pg-TEQ/m^3 であり、参考として、全ての調査地点において環境基準(年間平均値：0.6pg-TEQ/m^3）を下回った。

表 7.1-27　予測結果と事後調査結果との比較（ダイオキシン類）

単位：pg-TEQ/m^3

調査地点 ＼ 調査時期		事後調査結果					予測結果	環境基準
		秋季調査 H29.11.6～12	冬季調査 H30.1.29～2.4	春季調査 H30.5.28～6.3	夏季調査 H30.8.1～8.7	四季平均		
A	杉並清掃工場	0.020	0.022	0.011	0.013	0.016	0.049	年間平均値が 0.6 以下
B	神明中学校	0.023	0.029	0.0072	0.018	0.019	0.049	
C	富士見ヶ丘中学校	0.019	0.030	0.0081	0.013	0.018	0.049	
D	浜田山小学校	0.012	0.024	0.0053	0.011	0.013	0.049	
E	高井戸第三小学校	0.024	0.025	0.0072	0.012	0.017	0.049	
F	上北沢小学校	0.021	0.025	0.0078	0.012	0.016	0.049	

注１）数値は期間平均値を示す。
注２）環境基準は、環境基本法に基づく「ダイオキシン類による大気の汚染、水質の汚濁（水底の底質の汚染を含む。）及び土壌の汚染に係る環境基準について」を適用した。

e 塩化水素

塩化水素の予測結果と事後調査結果との比較は、表 7.1-28 に示すとおりである。

塩化水素の四季平均値は、0.0007～0.0009 ppm であり、予測結果(年平均値:0.001ppm)を下回った。

また、各調査地点における日平均値の最高は 0.0015～0.0023ppm であり、参考として全ての調査地点において目標値（１時間値：0.02ppm）を下回った。

表 7.1-28　予測結果と事後調査結果との比較（塩化水素）

単位：ppm

調査地点		調査時期	事後調査結果 秋季調査 H29.11.6～12	冬季調査 H30.1.29～2.4	春季調査 H30.5.28～6.3	夏季調査 H30.8.1～7	四季平均	予測結果	目標値
A	杉並清掃工場	平均値	0.0010	0.0007	0.0008	0.0007	0.0008	0.001	0.02 以下
		最高値	0.0015	0.0012	0.0012	0.0016	0.0016	―	
B	神明中学校	平均値	0.0010	0.0006	0.0006	0.0007	0.0007	0.001	
		最高値	0.0017	0.0009	0.0012	0.0010	0.0017	―	
C	富士見ヶ丘中学校	平均値	0.0010	0.0007	0.0006	0.0007	0.0008	0.001	
		最高値	0.0015	0.0011	0.0011	0.0018	0.0018	―	
D	浜田山小学校	平均値	0.0009	0.0006	0.0006	0.0007	0.0007	0.001	
		最高値	0.0015	0.0009	0.0011	0.0012	0.0015	―	
E	高井戸第三小学校	平均値	0.0009	0.0006	0.0006	0.0009	0.0008	0.001	
		最高値	0.0015	0.0010	0.0011	0.0019	0.0019	―	
F	上北沢小学校	平均値	0.0011	0.0008	0.0007	0.0010	0.0009	0.001	
		最高値	0.0018	0.0012	0.0013	0.0023	0.0023	―	

注１）平均値は、日平均値の期間平均値を示す。
注２）最高値は、日平均値の期間最高値を示す。
注３）四季平均欄の最高値は、日平均値の四季最高値を示す。
注４）目標値は大気汚染防止法に基づく「窒素酸化物の排出基準の改定等について」を適用した。

ｆ 水銀

水銀の予測結果と事後調査結果との比較は、表 7.1-29 に示すとおりである。

水銀の四季平均値は、0.0018～0.0020μg/m³ であり、予測結果（年平均値：0.003μg/m³）を下回った。

また、参考として、全ての調査地点において指針値（年平均値：0.04μg/m³）を下回った。

表 7.1-29　予測結果と事後調査結果との比較（水銀）

単位：μg/m³

調査地点 ＼ 調査時期			事後調査結果 秋季調査 H29.11.6～12	冬季調査 H30.1.29～2.4	春季調査 H30.5.28～6.3	夏季調査 H30.8.1～7	四季平均	予測結果	指針値
A	杉並清掃工場	平均値	0.0022	0.0019	0.0018	0.0014	0.0018	0.003	年間平均値が0.04以下
B	神明中学校	平均値	0.0022	0.0020	0.0018	0.0020	0.0020	0.003	
C	富士見ヶ丘中学校	平均値	0.0019	0.0019	0.0017	0.0018	0.0018	0.003	
D	浜田山小学校	平均値	0.0021	0.0017	0.0018	0.0019	0.0019	0.003	
E	高井戸第三小学校	平均値	0.0020	0.0019	0.0016	0.0016	0.0018	0.003	
F	上北沢小学校	平均値	0.0021	0.0019	0.0017	0.0013	0.0018	0.003	

注１）平均値は、日平均値の期間平均値を示す。
注２）指針値は、環境基本法に基づく「有害大気汚染物質による健康リスクの低減を図るための指針となる数値」を適用した。

② 清掃車両の走行に伴う排出ガスによる大気質の状況

a 浮遊粒子状物質

浮遊粒子状物質の予測結果と事後調査結果との比較は、表 7.1-30 に示すとおりである。

浮遊粒子状物質の期間平均値は 0.013～0.025mg/m^3、日平均値の最高は 0.026～0.043 mg/m^3 であり、予測結果（年平均値：0.026～0.028mg/m^3、日平均値の 2%除外値：0.059～0.062 mg/m^3）を下回った。

また、日平均値の最高は 0.026～0.043mg/m^3、１時間値の最高は 0.046～0.077mg/m^3 であり、参考として、全ての調査地点において環境基準（日平均値：0.10mg/m^3、１時間値：0.20mg/m^3）を下回った。

表 7.1-30　予測と事後調査結果との比較（浮遊粒子状物質）

調査日：平成 29 年 11 月 6 日（月）～11 月 12 日（日）　　単位：mg/m^3

調査地点＼項目			事後調査結果	予測結果	環境基準
1	桃井第二小学校	平均値	0.025	0.028	1 時間値の 1 日平均値が 0.10 以下であり、かつ 1 時間値が 0.20 以下
		最高値	0.043 (0.066)	0.062	
2	高井戸警察署	平均値	0.016	0.026	
		最高値	0.030 (0.047)	0.059	
3	高井戸西公園	平均値	0.018	0.027	
		最高値	0.037 (0.064)	0.060	
4	高井戸小学校	平均値	0.021	0.028	
		最高値	0.043 (0.077)	0.062	
5	ヤマト運輸 高井戸宅急便センター	平均値	0.013	0.027	
		最高値	0.026 (0.046)	0.060	
6	杉並障害者 福祉会館	平均値	0.020	0.026	
		最高値	0.039 (0.064)	0.059	

注１）事後調査結果欄の平均値は、1 時間値の期間平均値を示す。
注２）事後調査結果欄の最高値は、日平均値の期間最高値を示し、併せて 1 時間値の期間最高値を（）内に示す。
注３）予測結果欄の平均値は年平均値、最高値は日平均値の 2%除外値を示す。
注４）環境基準は、環境基本法に基づく「大気の汚染に係る環境基準について」を適用した。

b 二酸化窒素

二酸化窒素の予測結果と事後調査結果との比較は、表 7.1-31 に示すとおりである。

二酸化窒素の期間平均値は 0.024～0.038ppm、日平均値の最高は 0.040～0.048ppm であり、予測結果(年平均値:0.033～0.044ppm、日平均値の年間 98%値:0.053～0.069ppm)を全ての調査地点で下回った。

予測結果を下回った理由は、表 7.1-20（1）（p.54 参照）に示すとおり、予測時と比較して事後調査時のバックグラウンド濃度が著しく低下したためと考える。

また、日平均値の最高は 0.040～0.048ppm であり、参考として、全ての調査地点で環境基準を満足した。

表 7.1-31　予測と事後調査結果との比較（二酸化窒素）

調査日：平成 29 年 11 月 6 日（月）～11 月 12 日（日）　　単位：ppm

調査地点 ＼ 調査日			事後調査結果	予測結果	環境基準
1	桃井第二小学校	平均値	0.038	0.043	1 時間値の 1 日平均値が 0.04 から 0.06 までのゾーン内又はそれ以下
		最高値	0.048	0.068	
2	高井戸警察署	平均値	0.029	0.034	
		最高値	0.044	0.054	
3	高井戸西公園	平均値	0.024	0.035	
		最高値	0.040	0.056	
4	高井戸小学校	平均値	0.029	0.044	
		最高値	0.040	0.069	
5	ヤマト運輸 高井戸宅急便センター	平均値	0.031	0.036	
		最高値	0.046	0.057	
6	杉並障害者 福祉会館	平均値	0.026	0.033	
		最高値	0.042	0.053	

注１）事後調査結果欄の平均値は、１時間値の期間平均値を示す。
注２）事後調査結果欄の最高値は、日平均値の期間最高値を示す。
注３）予測結果欄の平均値は年平均値、最高値は日平均値の年間 98%値を示す。
注４）環境基準は、環境基本法に基づく「二酸化窒素に係る環境基準について」を適用した。